

司学館高等学校

# 学習計画表

—前期—

## 注意

- 内容をよく読んでから、履修科目を登録すること。
- ふだん学習するときも、常にそばに置いて、必要な時に確認し、自学・自習を円滑に進めること。
- 学習するときの注意や、評価のポイントなどは、担当の先生からの指示にも従うこと。わからないことがあれば、すぐに質問・相談すること。

## 学習計画表 もくじ

国語演習－①	【1】
現代の国語	
地理総合	【2】
日本史探究	
日本の文化を学ぶ	【3】
公共	
倫理	【4】
新聞を読もう	
現代の課題	【5】
数学演習－①	
数学 I－①	【6】
数学A	
科学と人間生活－①	【7】
地学基礎－①	
生物基礎－①	【8】
保健A	
体育A－①	【9】
体育B－①	
体育C－①	【10】
音楽 I	
英語演習－①	【11】
英語コミュニケーション I－①	
論理・表現 I－①	【12】
家庭基礎－①	
情報リテラシー	【13】
近江の偉人	
琵琶湖と環境	【14】
東近江大凧	
総合的な探究の時間について	【15】
日本の美を探求する	【16】
志望動機を考えよう	
司学館講座 テーマと内容	【17】
学習するとき気をつけてほしいこと	【18】
学校でのスクーリングとメディア・スクーリングの関係	【19】
スクーリングの受け方の例	【20】
成績評定・観点別学習状況の評価	【21】

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	1年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
国語	国語演習①		(ねらい) 文章を読むために必要な初歩的なことばのきまりを理解し、基礎力を養うとともに、ことばについての関心・理解を養う。							

〈レポート〉 計画的に取り組むこと。文章をよく読んでから、課題に取り組むこと。

〈スクーリング〉 真剣な態度がない、また周囲の迷惑になっている生徒については、出席と認めない。  
 毎回、課題プリントの作成と提出を求め、評価の対象とする。テキスト・レポートを持ってくること。

No.	レポートのテーマ・内容	No.	スクーリングのテーマ・内容		
1	言葉の単位 (文章、段落、文、文節、単語) 文の成分 (主語・述語)	〈1〉	<table border="1"> <tr> <td>学校 での スクー リング</td> <td>メデ ィア スクー リング</td> </tr> </table> ことばの役割と大きさ 文の成分 主語・述語・修飾語 文図	学校 での スクー リング	メデ ィア スクー リング
学校 での スクー リング	メデ ィア スクー リング				
2	修飾を理解しよう (形容詞・形容動詞)				
3	修飾を理解しよう (副詞・連体詞) 修飾の応用				
4	文図を使って文を理解する (単文・重文・複文) 主語と述語	〈2〉	<table border="1"> <tr> <td>メデ ィア スクー リング</td> </tr> </table> 分かりやすい文・あいまいな文 (文の訂正)	メデ ィア スクー リング	
メデ ィア スクー リング					
5	接続語 指示語				
6	分かりやすい文・あいまいな文				

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	2年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
国語	現代の国語		(ねらい) 論理的な文章の内容や構成、論理の展開などについて 叙述を的確に捉え、要旨や要点を把握すること。							

〈レポート〉 計画的に取り組むこと。文章をよく読んでから、課題に取り組むこと。

〈スクーリング〉 真剣な態度がない、また周囲の迷惑になっている生徒については、出席と認めない。  
 毎回、課題プリントの作成と提出を求め、評価の対象とする。テキスト・レポートを持ってくること。

No.	レポートのテーマ・内容	No.	スクーリングのテーマ・内容		
1	ルリボシカミキリの青 (福岡伸一) 文章読解・比喻等の修辞・要約など	〈1〉	<table border="1"> <tr> <td>学校 での スクー リング</td> <td>メデ ィア スクー リング</td> </tr> </table> 水の東西 (山崎正和) を読む <1> 評論文の構成・要約など	学校 での スクー リング	メデ ィア スクー リング
学校 での スクー リング	メデ ィア スクー リング				
2					
3	異なる種類の文章を読み比べよう 文章の種類と目的				
4	新聞記事を読んで意見文を書こう 文章読解・意見文を書く	〈2〉	<table border="1"> <tr> <td>メデ ィア スクー リング</td> </tr> </table> 水の東西 (山崎正和) を読む <2> 評論文の構成・要約など	メデ ィア スクー リング	
メデ ィア スクー リング					
5	水の東西 (山崎正和) 評論文の構成				
6	文章読解・対句・対比・要約など				

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	2年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
地理 歴史	地理総合		(ねらい) 地域性を踏まえ、現代世界の地理的な諸課題を考察する。現代世界の地理的認識、地理的な見方や考え方、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。							

- 〈レポート〉 ・基本的に1問1答問題なので、問題文で何を問うているかをよく考えて、答えるようにしてください。  
 ・教科書に漢字で書かれている語句については、正確な漢字で書きましょう。誤字やひらがなでの解答は×とします。
- 〈スクーリング〉 ・〈1〉では、授業の内容を聞いて終わりではなく、扱ったテーマについて自分なりに考えてみましょう。  
 ・〈2〉は、調べ学習が中心になります。インターネットや本などを利用して、自分で調べたことをまとめてもらいます。

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容		
1	球面上の世界と地図	地球上の位置 世界の時差 世界地図の見方・使い方 デジタル化された地図 目的地への行き方	〈1〉	学校 での スクー リング	メデ ィア スクー リング	身近なモノから見る世界の諸課題 ・普段利用しているモノの原産地を知る ・その場所で起こっている問題を知る ・その問題の解決策を考える
2	国家の結びつきとグローバル化する社会	国家の領域と国境 領土問題 国家をこえた結びつき 交通機関の発達 高度情報社会 世界の貿易と物流 など				
3	生活・文化の多様性と国際理解	世界の気候 衣食住から見る世界 産業 宗教 文化 多様性				
4	地球的課題と国際協力<1>	持続可能な開発目標(SDGs) 貧困問題 人口問題 食料問題 水問題 健康・福祉問題 教育・ジェンダー問題	〈2〉	メデ ィア スクー リング	行ってみよう国について調べてみよう ・国の基本情報 ・旅行に役立つ情報 について、調べたことをまとめる	
5	地球的課題と国際協力<2>	持続可能な産業化 資源・エネルギー問題 都市・居住問題 地球温暖化問題 陸地・海洋の環境問題				
6	平和で公正な社会に向けて自然環境と防災	民族問題 世界の紛争 さまざまな対立 国際協力とパートナーシップ 自然環境 変動帯・湿潤地域の自然と防災				

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	3年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
地理 歴史	日本史探究		(ねらい) 日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して理解する。							

- 〈レポート〉 基本的に1問1答問題なので、問題文で何を問うているかをよく考えて、答えるようにしてください。  
 各問題に教科書ページが参照してあります。そのページを初めからしっかりと読めば答えはわかるはずですよ。
- 〈スクーリング〉 評価の上で、次の2点を重視する。 ●スクーリング中、集中できているか？  
 ●スクーリング中に配付する課題をきちんとこなせているか？

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容		
1	日本文化のあけぼの古墳とヤマト政権	文化のはじまり 農耕社会の成立 古墳文化の展開 飛鳥の朝廷	〈1〉	学校 での スクー リング	メデ ィア スクー リング	古墳 古墳の始まり 巨大化する古墳 身近にある古墳
2	律令国家の形成 貴族政治の展開1	律令国家への道 平城京の時代 律令国家の変容 摂関政治				
3	貴族政治の展開2 院政と武士の躍進 武家政権の成立1	地方政治の展開と武士 院政の始まり 院政と平氏政権 鎌倉幕府の成立				
4	武家政権の成立2 武家社会の成長1	武士の社会 モンゴル来襲 室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭	〈2〉	メデ ィア スクー リング	レポート解説 テストについて レポートの中でまちがいがやすい ところを解説する。	
5	武家社会の成長2 近世の幕開け 幕藩体制の成立と展開1	戦国大名の登場 織豊政権 幕藩体制の成立 幕藩社会の構造				
6	幕藩体制の成立と展開2	幕政の安定 経済の発展 幕政の改革 幕府の衰退と近代への道				

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	3年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
地理 歴史	日本の文化を 学ぶ		(ねらい) 日本の文化や伝統をとらえなおし、日本のすばらしさを知ること。							

〈レポート〉 評価の上で、次の4点を重視する。 ●計画的に学習しているか? ●ていねいに書けているか?  
●自分の考えが書けているか? ●調べ学習において、しっかりと調べてあるか?

〈スクーリング〉 評価の上で、次の2点を重視する。 ●スクーリング中、集中できているか?  
●スクーリング中に配付する課題をきちんとこなせているか?

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容		
1	飛鳥文化 白鳳文化	仏像・建築物・工芸品など	〈1〉	学校 での スクー リング	メデ ィア スクー リング	仏教 仏教の簡単な話 仏像から見る仏教 仏像の見方
2	天平文化 弘仁・貞観期の 文化	仏像・建築物・工芸品など				
3	国風文化 院政期の文化	文学・仏教思想・絵画				
4	鎌倉文化 室町文化	鎌倉仏教・建築・芸能・絵画	〈2〉	メデ ィア スクー リング	神仏習合 (しんぶつしゅうごう) 仏教の話 神道のはなし 神仏習合とは	
5	安土・桃山文化 寛永期の文化	城郭(じょうかく)・絵画				
6	元禄文化 化政文化	絵画・学問・文学				

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	1年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
公民	公共		(ねらい) グローバルな社会で生活し、平和で民主的な国家・社会を作る人をめざす。							

〈レポート〉 いいかげんにやっているレポート・字が乱雑なレポートは やりなおし

〈スクーリング〉 ふまじめな人、態度の悪い人、まわりのめいわくになる人は 欠席にする。  
プリントを提出しなかった人、提出してもできが悪い人は 欠席にする。

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容		
1	社会で生きるということ みんなが幸せな社会とは?		〈1〉	学校 での スクー リング	メデ ィア スクー リング	環境問題と人間の活動
2	公共的な空間における基本原理(1)					
3	公共的な空間における基本原理(2) 私たちの生活と法(1)					
4	私たちの生活と法(2)		〈2〉	メデ ィア スクー リング	社会のルールについて考えよう!	
5	私たちの生活と経済					
6	私たちの生活と国際社会					

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	3年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
公民	倫理		(ねらい) 人間を尊重する精神に立ち、人間のあり方や生き方を考え、人格を高める。							

〈レポート〉 いいかげんにやっているレポート・字が乱雑なレポートは やりなおし

〈スクーリング〉 ふまじめな人、態度の悪い人、まわりのめいわくになる人は 欠席にする。  
プリントを提出しなかった人、提出してもできが悪い人は 欠席にする。

No.	レポートのテーマ・単元内容	No.	スクーリングのテーマ・単元・内容		
1	ソクラテス プラトン アリストテレス	〈1〉	<table border="1"> <tr> <td>学校 での スクー リング</td> <td>メデ イア スクー リング</td> </tr> </table> キリスト教 イエスの ことばから	学校 での スクー リング	メデ イア スクー リング
学校 での スクー リング	メデ イア スクー リング				
2	イエス ゴータマ				
3	孔子 孟子 荀子 老子 莊子				
4	ベーコン デカルト カント	〈2〉	<table border="1"> <tr> <td>メデ イア スクー リング</td> </tr> </table> 仏教 ブッダの ことばから	メデ イア スクー リング	
メデ イア スクー リング					
5	キルケゴール ニーチェ ヤスパーズ ハイデッガー				
6	サルトル パース ジェームズ デューイ				

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	1年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
公民	新聞を読もう		(ねらい) 新聞に慣れ親しみ、身近な情報源にしよう。							

〈レポート〉 すべてのレポートに〈スクラップ 課題〉(新聞の切り抜き)がある。  
新聞がない人は、職員室で新聞を提供します。

〈スクーリング〉 ふまじめな人、態度の悪い人、まわりのめいわくになる人は 欠席にする。  
プリントを提出しなかった人、提出してもできが悪い人は 欠席にする。

● この科目は  
教科書は  
ありません

No.	レポートのテーマ・単元内容	No.	スクーリングのテーマ・単元・内容		
1	四コマ マンガ	〈1〉	<table border="1"> <tr> <td>学校 での スクー リング</td> <td>メデ イア スクー リング</td> </tr> </table> テストについての説明 〈スクラップ課題〉Aについて 新聞記事の構成について  ※ テストでは 〈スクラップ課題〉を つくって提出してもらいます。  ※ できが不十分なら、不合格に なります。	学校 での スクー リング	メデ イア スクー リング
学校 での スクー リング	メデ イア スクー リング				
2	新聞広告				
3	川柳				
4	見出し	〈2〉	<table border="1"> <tr> <td>メデ イア スクー リング</td> </tr> </table> テストについての説明 〈スクラップ課題〉Bについて 記事になるかならないか ～ ニュースの価値判断 ～  ※ テストでは 〈スクラップ課題〉を つくって提出してもらいます。  ※ できが不十分なら、不合格に なります。	メデ イア スクー リング	
メデ イア スクー リング					
5	写真記事				
6	投書				

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	3年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
公民	現代の課題		(ねらい) 現代の倫理的な課題について考え、自己の生き方を確立する。							

〈レポート〉 いいかげんにやっているレポート・字が乱雑なレポートは やりなおし

●この科目は  
倫理の教科書を使います

〈スクーリング〉 ふまじめな人、態度の悪い人、まわりのめいわくになる人は 欠席にする。  
プリントを提出しなかった人、提出してもできが悪い人は 欠席にする。

No.	レポートのテーマ・単元内容	No.	スクーリングのテーマ・単元・内容		
1	生命の問題と倫理的課題 (1)	〈1〉	<table border="1"> <tr> <td>学校でのスクーリング</td> <td>メディアスクーリング</td> </tr> </table> 「みえない障害」 合理的配慮とはなにか	学校でのスクーリング	メディアスクーリング
学校でのスクーリング	メディアスクーリング				
2	生命の問題と倫理的課題 (2)				
3	地域共生社会と家族 (1)				
4	地域共生社会と家族 (2)	〈2〉	<table border="1"> <tr> <td>メディアスクーリング</td> </tr> </table> デザインが社会をかえる マナーの改善をうながすデザイン	メディアスクーリング	
メディアスクーリング					
5	福祉の向上と倫理的課題 (1)				
6	福祉の向上と倫理的課題 (2)				

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	1年次	レポート	6枚	スクーリング	3回
数学	数学演習①		(ねらい) 数の計算、文字式の計算について理解し、高校の数学を学ぶにあたって必要とされる基礎学力定着と、数学に対する苦手意識の克服をめざす。							

- レポートでは、計算の過程を消さずに残しておくこと。答えが正解でも計算過程が記述されていない場合は再提出になることがある。
- スクーリングで使う課題プリントは、評価の対象とするので毎回必ず指示とおりに完成すること。
- 理解できない内容は必ず質問をして、わからないままにしておかないこと。

No.	レポートのテーマ・単元内容	No.	スクーリングのテーマ・単元・内容		
1	四則演算 四則演算と文章題 整数の概数	〈1〉	<table border="1"> <tr> <td>学校でのスクーリング</td> <td>メディアスクーリング</td> </tr> </table> 分数 分数の意味 分数の四則演算	学校でのスクーリング	メディアスクーリング
学校でのスクーリング	メディアスクーリング				
2	正負の数 整数 正負の数の四則演算				
3	分数 分数の意味、約分、通分 分数の四則演算	〈2〉	<table border="1"> <tr> <td>学校でのスクーリング</td> <td>メディアスクーリング</td> </tr> </table> 文字式 文字式の約束 単項式のたし算とひき算 多項式のたし算とひき算	学校でのスクーリング	メディアスクーリング
学校でのスクーリング	メディアスクーリング				
4	小数/割合 小数の四則演算 小数の概数 分数と小数の関係 割合				
5	文字式 整式のたし算・ひき算 分配法則と乗法公式の関係	〈3〉	<table border="1"> <tr> <td>メディアスクーリング</td> </tr> </table> 平方根 平方根の性質 平方根の四則演算	メディアスクーリング	
メディアスクーリング					
6	平方根 平方根の性質 平方根の四則演算				

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	2年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
数学	数学Ⅰ-①		(ねらい) 方程式、不等式、2次関数等について理解し、知識の習得と計算力向上を図る。事象を論理的に考察する能力を養う。上位学校の入学試験に対する基礎学力を習得する。							

- レポートは、計算の過程を消さずに残しておくこと。答えのみ記入され、計算の過程(筆算もふくむ)が記入されていないレポートは受理せず再提出とする。
- スクーリングで配る課題プリントは、評価の対象とするので毎時間後に必ず提出すること。
- 希望者には試験用練習問題を配布します。

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容		
1	整式	整式のたし算・ひき算 指数法則 乗法公式 / 因数分解	<1>	学校 での スクー リング	メデ イア スクー リング	2次方程式 因数分解 2次方程式の解き方 2次方程式の解の公式
2	実数	数の分類 平方根の四則演算 分母の有理化				
3	1次方程式と 1次不等式	1次方程式の解き方 1次不等式の解き方				
4	2次方程式	2次方程式の解き方 2次方程式の解の公式	<2>	メデ イア スクー リング	2次関数 2次関数とそのグラフ 2次式の変形	
5	2次関数と そのグラフ	1次関数とそのグラフ 2次関数とそのグラフ頂点の座標				
6	2次関数の 値の変化	2次関数のグラフと2次方程式 2次関数のグラフと2次不等式				

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	3年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
数学	数学A		(ねらい) 集合・場合の数、順列組合せ、確率、図形の性質、空間図形について基礎的な知識の習得と計算力向上を図り、より論理的な思考ができることを目標とする。							

- レポートでは、計算の過程を消さずに残しておくこと。答えが正解でも計算過程が記述されていない場合は再提出になることがある。
- スクーリングで使う課題プリントは、評価の対象とするので毎回必ず指示とおりに完成すること。
- 理解できない内容は必ず質問をして、わからないままにしておかないこと。

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容		
1	集合/場合の数	集合 集合の要素の個数 場合の数(和の法則、積の法則)	<1>	学校 での スクー リング	メデ イア スクー リング	場合の数 集合 場合の数 順列 組合せ
2	順列・組合せ	順列 重複順列 組合せ				
3	確率	確率の定義 確率の加法定理 余事象の確率				
4	三角形の性質	三角形と比 三角形の重心・外心・内心 角の二等分線と線分の比	<2>	メデ イア スクー リング	確率 確率の定義 確率の計算	
5	円の性質	円周角の定理 円に内接する四角形 方べきの定理/2つの円の位置関係				
6	空間図形	直線や平面の位置関係 多面体				

教科	科目	担当	単位	1単位	年次	1年次	レポート	3枚	スクーリング	4回
理科	科学と 人間生活①		(ねらい) 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。							

- 〈レポート〉 ●読めない文字を書いて提出した場合は、不正解とする。  
●課題にとりくまない、または、ザツにとりくんだと思わせられるレポートは再提出とする。

- 〈スクーリング〉 ●持ち物：教科書、筆記具、スクーリングを受ける「やる気」。  
●スクーリングのおわりに、プリントの提出を求める。できが不十分な場合、欠席とする。

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容			
1	材料とその利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子とその構造</li> <li>プラスチックの特徴</li> <li>プラスチックの分類と用途</li> <li>さまざまなプラスチック資源の再利用</li> </ul>	<1>	<table border="1"> <tr><td>学校でのスクーリング</td><td>メディアスクーリング</td></tr> </table>	学校でのスクーリング	メディアスクーリング	材料とその利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>物質を構成する粒子</li> <li>プラスチック</li> <li>金属</li> </ul>
学校でのスクーリング	メディアスクーリング						
2	材料とその利用 衣料と食品	<ul style="list-style-type: none"> <li>金属と人間生活</li> <li>金属のさびと合金</li> <li>繊維</li> <li>栄養素</li> </ul>	<2>	<table border="1"> <tr><td>学校でのスクーリング</td><td>メディアスクーリング</td></tr> </table>	学校でのスクーリング	メディアスクーリング	食品 <ul style="list-style-type: none"> <li>食品に含まれる栄養素</li> <li>栄養素の消化の過程</li> <li>化学反応を起こす栄養素</li> </ul>
学校でのスクーリング	メディアスクーリング						
3	熱や光の科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>温度と熱運動</li> <li>熱容量と比熱</li> <li>仕事や電流と熱の発生</li> <li>光の性質と利用</li> <li>電磁波の種類とその利用</li> </ul>	<3>	<table border="1"> <tr><td>メディアスクーリング</td></tr> </table>	メディアスクーリング	熱の性質とその利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>熱の性質</li> <li>熱と仕事</li> </ul>	
			メディアスクーリング				
<4>	<table border="1"> <tr><td>メディアスクーリング</td></tr> </table>	メディアスクーリング	光の性質とその利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>光の性質</li> <li>光の利用</li> </ul>				
メディアスクーリング							

教科	科目	担当	単位	1単位	年次	2年次	レポート	3枚	スクーリング	4回
理科	地学基礎①		(ねらい) 日常生活や社会との関連をはかりながら、地球や地球を取り巻く環境への関心を高める。地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。							

- 〈レポート〉 ●読めない文字を書いて提出した場合は、不正解とする。  
●課題にとりくまない、または、ザツにとりくんだと思わせられるレポートは再提出とする。

- 〈スクーリング〉 ●持ち物：教科書、筆記具、スクーリングを受ける「やる気」。  
●スクーリングのおわりに、プリントの提出を求める。できが不十分な場合、欠席とする。

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容			
1	地球のすがた	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球の形と大きさ</li> <li>地球の内部構造と動き</li> <li>プレートの運動</li> <li>地殻の変動と地質構造</li> <li>大地形の形成</li> </ul>	<1>	<table border="1"> <tr><td>学校でのスクーリング</td><td>メディアスクーリング</td></tr> </table>	学校でのスクーリング	メディアスクーリング	地球 <ul style="list-style-type: none"> <li>地球の誕生</li> <li>地球の構成</li> </ul>
学校でのスクーリング	メディアスクーリング						
2	地球の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震</li> <li>火山活動</li> </ul>	<2>	<table border="1"> <tr><td>学校でのスクーリング</td><td>メディアスクーリング</td></tr> </table>	学校でのスクーリング	メディアスクーリング	地球の活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>地震活動</li> </ul>
			学校でのスクーリング	メディアスクーリング			
<3>	<table border="1"> <tr><td>メディアスクーリング</td></tr> </table>	メディアスクーリング	地球の活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>火山活動</li> </ul>				
メディアスクーリング							
3	大気と海洋	<ul style="list-style-type: none"> <li>大気の特徴と特徴</li> <li>太陽放射と地球放射</li> <li>高気圧と低気圧</li> <li>大気の大循環</li> <li>海洋の構造</li> </ul>	<4>	<table border="1"> <tr><td>メディアスクーリング</td></tr> </table>	メディアスクーリング	大気と海洋 <ul style="list-style-type: none"> <li>大気の特徴と性質</li> <li>海洋の構成と性質</li> </ul>	
メディアスクーリング							

教科	科目	担当	単位	1単位	年次	3年次	レポート	3枚	スクーリング	4回
理科	生物基礎①		(ねらい) 日常生活や社会との関連をはかりながら、生物や生物現象への関心を高める。生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。							

- <レポート> ●読めない文字を書いて提出した場合は、不正解とする。  
●課題にとりくまない、または、ザツにとりくんだと思わせられるレポートは再提出とする。
- <スクーリング> ●持ち物：教科書、筆記具、スクーリングを受ける「やる気」。  
●スクーリングの代わりに、プリントの提出を求める。できが不十分な場合、欠席とする。

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容			
1	生物の共通性	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物にみられる共通性</li> <li>生物の共通性の由来</li> <li>細胞構造の共通性</li> <li>顕微鏡を用いた観察</li> </ul>	<1>	<table border="1"> <tr><td>学校でのスクーリング</td><td>メディアスクーリング</td></tr> </table>	学校でのスクーリング	メディアスクーリング	生物の共通性 <ul style="list-style-type: none"> <li>生物の多様性と共通性</li> <li>細胞の構造</li> </ul>
学校でのスクーリング	メディアスクーリング						
2	生物とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギーと代謝</li> <li>代謝とATP</li> <li>代謝と酵素</li> <li>光合成と呼吸</li> </ul>	<2>	<table border="1"> <tr><td>学校でのスクーリング</td><td>メディアスクーリング</td></tr> </table>	学校でのスクーリング	メディアスクーリング	顕微鏡 <ul style="list-style-type: none"> <li>顕微鏡の取り扱い方</li> <li>マイクロメーターの使い方</li> </ul>
学校でのスクーリング	メディアスクーリング						
3	遺伝子とその働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>染色体、NDA、遺伝子</li> <li>DNAの研究史と構造</li> <li>DNAの複製と分配</li> <li>遺伝情報とタンパク質の合成</li> </ul>	<3>	<table border="1"> <tr><td>メディアスクーリング</td></tr> </table>	メディアスクーリング	生物とエネルギー <ul style="list-style-type: none"> <li>代謝とATP</li> <li>酵素</li> <li>光合成と呼吸</li> </ul>	
メディアスクーリング							
			<4>	<table border="1"> <tr><td>メディアスクーリング</td></tr> </table>	メディアスクーリング	遺伝子とその働き <ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝情報とDNA</li> <li>遺伝情報とタンパク質の合成</li> </ul>	
メディアスクーリング							

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	1年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
保健体育	保健A		(ねらい) 個人および社会生活における健康・安全について理解を深める。生涯を通じて、自らの健康を適切に理解し、改善していく資質や能力を培う。							

- <レポート> ① 完成度 ② 提出日を守る ③ ていねい書く などを総合的に評価する
- <スクーリング> ① 教科書、筆記用具を持ってくる ② 参加態度を重要視します
- <履修について> 前籍校で1単位を修得した人、本校で「保健B」1単位を修得した人は、履修できない

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容			
1	現代社会と健康	現代の感染症問題とその予防 など	<1>	<table border="1"> <tr><td>学校でのスクーリング</td><td>メディアスクーリング</td></tr> </table>	学校でのスクーリング	メディアスクーリング	生活習慣病 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 生活習慣と関連の深い病気 —生活習慣病—</li> <li>② 健康の基本 —食事、運動、休養および睡眠—</li> </ul>
学校でのスクーリング		メディアスクーリング					
2		喫煙・飲酒と健康 など					
3	精神疾患の特徴と対応 など						
	安全な社会生活	事故の現状とその対応 など					
4	生涯を通じる健康	思春期と健康 性意識の変化と性行動 など	<2>	<table border="1"> <tr><td>メディアスクーリング</td></tr> </table>	メディアスクーリング	保健・医療・医薬品の制度とその活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 保健行政の仕組み・サービス</li> <li>② 医療制度と医療保険</li> <li>③ 医療機関と適切な活用方法</li> <li>④ 医薬品の種類と使い方</li> </ul>	
メディアスクーリング							
5	結婚生活と健康 妊娠・出産 ユニバーサルデザイン など						
6	健康を支える環境づくり	大気汚染・水質汚濁・ 土壌汚染と健康・様々な保健活動 など					

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	1年次	レポート	2枚	スクーリング	10回
保健 体育	体育A-①		(ねらい) スポーツの意義や歴史、文化的特徴や現代スポーツを取り巻く経済、政治外交などスポーツを取り巻く様々な問題について学ぶ。							

〈学校でのスクーリング〉

- 〈1〉〈2〉〈3〉〈4〉は実技。見学は不可。(履修者の人数により、内容を変更する場合がある。)
- 体操服(運動のできる服装)を必ず持参すること。忘れた者は見学扱いとなる。
- 安全のため、ピアス・ネックレス・指輪・時計・つけ爪などは、**はずして参加すること。(できない場合は、参加を認めない)**

〈レポート〉〈メディア・スクーリングプリント〉

- 完成度、提出日を守る、ていねいに書く、などを総合的に評価する。
- 実際に**動画を見ながら**体操するなど、いくつかの**種目に取り組む必要がある**。

※6回以上の出席が認められない場合は、不合格になります。

※学校でのスクーリングに参加し、一定の評価を残さなければ、通知表(評定5)はつきません。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容			
1	スポーツの発祥と発展	①スポーツの発祥と成立 ②スポーツ文化の発展と現代社会	〈1〉	学校でのスクーリング	1. 体操・ストレッチ 2. 集団行動 3. 体力測定 4. その他	メディアスクーリング	・体育Aについて ・体育での注意事項 ・体操 ・ストレッチング ・柔道など
			〈2〉				
			〈3〉	学校でのスクーリング		メディアスクーリング	
			〈4〉				
			〈5〉	メディアスクーリング		体力の把握(体力測定)	
2	1. スポーツの発祥と発展 2. 柔道について	①わが国発祥のスポーツ  ①歴史と発展 ②基本技術 など	〈6〉		体育理論	スポーツと環境	
			〈7〉				
			〈8〉		集団行動(姿勢・方向転換)		
			〈9〉	体育理論	応急手当		
〈10〉							

教科	科目	担当	単位	1単位	年次	2年次	レポート	1枚	スクーリング	5回
保健 体育	体育B-①		(ねらい) 運動技能を構造的に理解すると共に、その上達過程と上達の程度を把握する方法を身に付ける。							

〈学校でのスクーリング〉

- 〈1〉〈2〉は実技。見学は不可。(履修者の人数により、内容を変更する場合がある。)
- 体操服(運動のできる服装)を必ず持参すること。忘れた者は見学扱いとなる。
- 安全のため、ピアス・ネックレス・指輪・時計・つけ爪などは、**はずして参加すること。(できない場合は、参加を認めない)**

〈レポート〉〈メディア・スクーリングプリント〉

- 完成度、提出日を守る、ていねいに書く、などを総合的に評価する。
- 実際に**動画を見ながら**体操などいくつかの**種目に取り組む必要がある**。
- 内容は変更の場合がある。

※3回以上の出席が認められない場合は、不合格になります。

※学校でのスクーリングに参加し、一定の評価を残さなければ、通知表(評定5)はつきません。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容		
1	運動・スポーツの学び方	1. スポーツにおける技術と戦術・戦略 2. スポーツにおける技能と体力 3. 技能の上達過程と練習の考え方 4. ダンス・体操競技	〈1〉	学校でのスクーリング	メディアスクーリング	①諸注意 ②なわとび ③体力測定
			〈2〉			
			〈3〉	メディアスクーリング	ダンス	
			〈4〉		体操競技	
			〈5〉		体育理論	1. 運動・スポーツの学び方

教科	科目	担当	単位	1単位	年次	3年次	レポート	1枚	スクーリング	5回
保健 体育	体育C-①		(ねらい) 各ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を理解し、自分に合ったスポーツライフを設計する。							

〈スクーリング〉

- 〈1〉〈2〉は実技。(履修者の人数により、内容を変更する場合があります)
- 体操服(運動のできるジャージ)を必ず持参すること。忘れた者は見学扱いとなり、参加できない。
- 安全のため、ピアス・ネックレス・指輪・時計・つけ爪などは、**はずして参加すること。(できない場合は、参加を認めない)**

〈レポート〉〈メディア・プリント〉

- 完成度 提出日を守る ていねいに書く などを総合的に評価する。
- 実際に動画を見ながら体操など、いくつかの種目に取り組む必要がある。

※3回以上の出席が認められない場合は、不合格になります。

※学校でのスクーリングに参加し、一定の評価を残さなければ、通知表(評定5)はつきません。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容		
1	豊かなスポーツライフの設計	1. 生涯スポーツの見方・考え方 2. ライフスタイルとスポーツの楽しみ方 3. 水泳競技	〈1〉	学校でのスクーリング	①諸注意 ②体力測定	1. 体育について ・注意事項などの確認 ・バランストレーニング ・体操
			〈2〉			2. 体力測定 ①握力 ②上体おこし ③立ち幅跳び ④長座体前屈 ⑤反復横跳び ⑥閉眼片足立ち
			〈3〉	メディアスクーリング	水泳競技	1. 歴史と特性 2. 基本技術について など
			〈4〉		豊かなスポーツライフの設計	1. スポーツ科学のすすめ 2. スポーツに関わる職業
			〈5〉		1. 生涯スポーツの見方・考え方 2. ライフスタイルとスポーツの楽しみ方	

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	1年次	レポート	6枚	スクーリング	8回
芸術	音楽 I		(ねらい) 楽典の基礎を身につけ、簡単な楽譜が読めるようになる。日本の伝統音楽に触れて、日本文化に対する関心を深める。鑑賞を交えながら西洋音楽史を学び、各時代の特徴を知る。							

- 〈レポート〉 ●教科書で調べて分かる範囲については、しっかり書けているかどうか?を評価の基準にします。  
●No.5のチャレンジ問題は、教科書には載っていませんので、各自調べて答えて下さい。

- 〈スクーリング〉 ●真剣な態度がない。または周囲の迷惑になる生徒については、出席と認めません。  
●毎回、課題プリントの提出を求めます。  
●配付するプリントもテスト範囲になります。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容		
1	日本の芸能と音楽	日本の伝統芸能の歴史を学ぶ。	〈1〉	学校でのスクーリング	西洋音楽史	中世～バロック
			〈2〉			古典派
2	ピアノの歩み	ピアノが現在の形になるまで。	〈3〉	学校でのスクーリング	楽典	音程
3	音楽の基礎知識	科学的に音とはなにか?を考える。	〈4〉			調号と主音
4	世界の楽器	世界の楽器の特徴を学ぶ。	〈5〉	メディアスクーリング	世界の音楽	ポピュラー音楽のルーツ
5	総合芸術	総合芸術にはどのようなものがあるか	〈6〉			オペラの歴史
6	楽典	大譜表の音符。調号と主音の関係	〈7〉	メディアスクーリング	日本の伝統芸能	日本音楽史
			〈8〉			歌舞伎「勸進帳」

教科	科目	担当	単位	1単位	年次	1年次	レポート	3枚	スクーリング	4回
外国語	英語演習①		(ねらい) 読み書きの基本に重点を置いた英語学習に取り組むためにアルファベットから始めて、その基礎を固めることを目的とする。							

<レポート> ●正しいアルファベット・英文の書き方を身に着けるため、レポート学習では例や見本に見て丁寧に取り組んでください。

<スクーリング> ●スクーリングやレポートも書く作業が多いですが、丁寧に書いてください。  
※4線を使って英語を書くのはこの科目だけなので頑張って!

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容			
1	アルファベット ローマ字	アルファベットの大文字・小文字の練習や、アルファベットの順序、書き間違いやすいアルファベットなど、二枚目のプリントで単語を書くことで練習する。 へボン式ローマ字で名前などを書く。	<1>	学校でのスクーリング	メデアスクーリング	アルファベット 大文字・小文字 ローマ字	アルファベットの形と順序 へボン式ローマ字で自分の名前などを書く
			<2>	学校でのスクーリング	メデアスクーリング	4つの英語の約束 文を構成する要素	4つの英語の約束を使って単語や英文を書く 日本語と英語を構成する順序のちがいを知る
2	4つの英語の約束 日本語の主語・動詞 英語の仕組み	4つの英語の約束、日本語の中の主語と動詞、日本語と英語のちがいを知る。	<3>		メデアスクーリング	英語の仕組み 日本語と英語の主語・動詞	日本語と英語の仕組みのちがいを 日本語の中の主語と動詞 英語の中の主語と動詞
			<4>		メデアスクーリング	前期学習内容の復習 品詞について 英単語の読み方	前期学習内容の復習 品詞(名詞・動詞・形容詞)について 英単語の読み方(アルファベット読みとフォニックス読み)
3	英語の主語・動詞 品詞 (名詞・動詞・形容詞)	英文の中の主語と動詞を基本にして、日本語を見て英文を作り、品詞(名詞・動詞・形容詞)を知る。					

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	2年次	レポート	6枚	スクーリング	8回
外国語	英語コミュニケーションⅠ①		(ねらい) 中学までの学習を確認し、高校英語へとステップアップできるよう、基礎を中心に取り組みつつ、英語への興味関心を高めることを目的とする。							

<レポート> ●レポート以外にも教科書のTargetも参考にすること。  
●レポートに取り組むときには、必ずレポート内の「ヒント」を読んでから始めること。

<スクーリング> ●スクーリングには、必ず教科書・筆記用具を持参すること。  
※スクーリング<2>から教科書を使って練習問題をします。  
●スクーリングの練習問題には必ず取り組むこと。取り組んでいない場合、再提出になります。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容			
1	代名詞 be動詞の文 一般動詞の文	代名詞の確認 be動詞・一般動詞の現在形の肯定文・否定文・疑問文	<1>	学校でのスクーリング	メデアスクーリング	代名詞 代名詞の確認	
			<2>			be動詞の文 一般動詞の文	be動詞 一般動詞の肯定文と否定文
2	疑問詞 過去形	疑問詞を用いた疑問文 be動詞・一般動詞の過去形の肯定文・否定文・疑問文	<3>	学校でのスクーリング	メデアスクーリング	疑問文	基本的な疑問文 疑問視を用いた疑問文
			<4>			現在進行形 過去形	be動詞・一般動詞の過去形の文 現在進行形 過去進行形
3	進行形 助動詞 接続詞	現在進行形と過去進行形 助動詞を用いた文 接続詞thatとwhen	<5>		メデアスクーリング	助動詞 接続詞 that	助動詞を用いた文 接続詞 that
			<6>			接続詞 when 第4・5文型	接続詞 when 第4文型と第5文型
4	第4文型 第5文型	第4文型 S V O O 第5文型 S V O C	<7>		メデアスクーリング	to不定詞	名詞的用法 形容詞的用法 副詞的用法
			<8>			動名詞	動名詞を用いた文

教科	科目	担当	単位	1単位	年次	3年次	レポート	3枚	スクーリング	4回
外国語	論理・表現Ⅰ ー①		(ねらい) アウトプットを工夫しながら、言いたいことを英語で表現できるようにする							

〈レポート〉 ● ページ数を見て、教科書を見ながらレポートに取り組んでください。わからないところは必ず聞いてください。

〈スクーリング〉 ● レポートの問題をスクーリングで説明していますが、わからないところは登校したときに聞いてください。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容		
1	Lesson 1	現在形：be動詞 / 一般動詞	<1>	学校 での スクー リング	メデ ィア スクー リング	Lesson 1 be動詞と一般動詞を使って現在形で表現できるようにする
2	Lesson 2	過去形：be動詞 / 一般動詞	<2>	学校 での スクー リング	メデ ィア スクー リング	Lesson 2 be動詞と一般動詞を使って過去形で表現できるようにする
			<3>	メデ ィア スクー リング		Lesson 3 現在形と過去形で進行形を表現できるようにする
3	Lesson 3	進行形：be動詞 + ~ing	<4>	メデ ィア スクー リング		Lesson 14 前期のまとめ 日本の文化を外国の人に紹介する 前期試験に向けて復習します

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	2年次	レポート	3枚	スクーリング	3回
家庭	家庭基礎ー①		(ねらい) 家庭科はくらしの感性をみがく教科です。自分をとりまく家族や社会に目を向け、充実した人生に必要な知識技術を身につけましょう。							

- レポートは、教科書に基づいて作っています。教科書を何度も読み返しましょう。
- スクーリング時は、必ず教科書、筆記用具を持参し、相当する内容のレポートに目を通しておいてください。
- 家庭科は他の教科との関連が大きいので合わせて学習してください  
(自分で調べる問題も少しあります。インターネットや辞書を利用して学習を深めてください)。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容		
1	家族・家庭生活について	家族や家庭、家庭と社会の関係について考え、多様な家族のあり方を理解する	<1>	学校 での スクー リング	メデ ィア スクー リング	家族・家庭・社会について考える 家族がどのように変化してきたのか、現代の家族の特徴や機能について学ぶ。
2	子どもの生活と子育てについて	子どもの成長発達を学び、子どもとの適切なかかわり方を考える	<2>	学校 での スクー リング	メデ ィア スクー リング	子どもと子育てについて 子どもと子育てについて学ぶ。
3	経済生活について	現代の消費生活の特徴、キャッシュレス化や消費者問題について理解する	<3>	メデ ィア スクー リング		現代の消費生活について 現代の消費生活について学ぶ。

教科	科目	担当	単位数	2単位	年次	3年次	レポート	6枚	スクーリング	6回
情報	情報リテラシー		(ねらい) 情報社会で生きていくために必要な知識を身に付ける。							

- ・レポートは、教科書をよく読んで取り組みましょう。
- ・レポートにあるチャレンジ問題にも、積極的に取り組みましょう。
- ・教科書は、「情報 I Step Forward!」を使います。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容			
1	メディアとその特性	・メディアとは何か ・情報伝達とコミュニケーション	<1>	学校 での スクー リング	メデ ィア スクー リング	情報伝達	情報の伝わり方 情報のとらえ方
2	メディアと文化の発展 ネットコミュニケーション	・誰でも表現者、発信者 ・ネットコミュニケーションの特徴	<2>			情報伝達	情報をデザインする① 伝わりやすい情報、 伝わりにくい情報
3	情報デザイン	・情報デザインとは ・効率的に伝えるために	<3>			情報伝達	情報をデザインする② 読みやすい文書とは?
4	全ての人に伝わる デザイン	・ユニバーサルデザイン ・読みやすいデザイン	<4>	メデ ィア スクー リング		メディアについて	メディアを通して知ること のできる情報について考える
5	よりよい 情報デザインを 行うために	・デザイン思考のプロセス ・ピクトグラム	<5>			情報を 発信すること	情報発信時の注意点 SNSについて
6	データの分析	・データの可視化 ・問題解決 ・グラフでの表現	<6>			情報化と 社会の変化	アナログとデジタル 新しい情報技術

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	3年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
郷土 学習	近江の偉人		(ねらい) 郷土で活躍した人物の生き方について調べたことと関わらせて、自己の 生き方を見つめる。							

<レポート・テスト> 教科書・副読本はありません。したがって、インターネットか図書館で調べるしかありません。  
レポートは期末試験に使用するので、なくさないようにすること。

<スクーリング> 評価の上で、次の2点を重視する。 ●スクーリング中、集中できているか?  
●スクーリング中に配付する課題をきちんとこなせているか?

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容		
1	中江藤樹	近江聖人と呼ばれた陽明学者	<1>	学校 での スクー リング	メデ ィア スクー リング	中江藤樹 近江聖人と呼ばれた陽明学者
2	井伊直弼	彦根藩主・幕府の大老という 二つの顔を持つ。名君?暴君?				
3	伊藤忠兵衛	近江商人の筆頭				
4	ウィリアム・メレル・ ヴォーリス	日本で数多くの西洋建築を てがけた建築家	<2>	メデ ィア スクー リング		レポート解説 テストについて レポートの中でまちがいがやすい ところを解説する。
5	土川平兵衛	命をかけて領民をまもった天保義民				
6	糸賀一雄	社会福祉の父				

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	3年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
理科	琵琶湖と環境		(ねらい) 琵琶湖の成り立ちから現在までの環境状態を学習し、琵琶湖に対する理解を深めていく。また、調べた資料を正確に読み取り、まとめる力を養う。							

- 〈レポート〉 ●読めない文字を書いて提出した場合は、不正解とする。  
 ●課題にとりくまない、または、ザツにとりくんだと思わせられるレポートは再提出とする。  
 〈スクーリング〉 ●持ち物：教科書、筆記具、スクーリングを受ける「やる気」。  
 ●スクーリングのおわりに、プリントの提出を求める。できが不十分な場合、欠席とする。

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容		
1	なりたち	<p>【レポートの概要】</p> <p>すべてのレポートに、ポスター製作の課題がある。この課題にとりくまないで再提出になる。 レポート全体の取組みが不十分な場合も同じとする。</p> <p>この科目は総合力を養う。 次のような作業が中心である。 ① 図や表から読み取れることを文章化する ② 文章を読み必要な情報をまとめる(図式化することを含む)</p> <p>教科書や副読本は用意していない。 辞書・資料・インターネットなどを使って調べる作業がある。</p>	<1>	課題製作 予行練習①	<p>【スクーリングの概要】</p> <p>試験課題の題材提供、調べ学習のやり方、まとめ方について、要点を絞り実施する。</p> <p>図表の読み方、文章のまとめ方などは、演習形式で行うことを考えている。</p> <p>【試験方法】</p> <p>琵琶湖に関することで一枚のレポート課題を作成・提出したものを、期末試験として評価する。</p> <p>提出課題の用紙は指定する。 ※ペーパーテストは実施しない。</p>	
2	固有種と外来種			学校でのスクーリング		メディアスクーリング
3	絶滅した生物		<2>	課題製作 予行練習②		メディアスクーリング
4	ヒト					
5	環境教育					
6	環境保全					

教科	科目	担当	単位数	2単位	年次	2年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
郷土学習	東近江大凧		(ねらい) 東近江大凧の伝統を知り、文化の継承・発展の担い手となる。判じもんや凧の図柄を考えることで、発想力を身に付ける。							

- 〈レポート〉 No.1～2は、補足プリントを見たり、インターネットで検索したりするなど、調べ学習が中心です。  
 いろいろな資料を見て、勉強を進めましょう。  
 No.3～6は、東近江大凧の特徴の1つである判じもんについて、具体的に考える問題です。  
 レポートのはじめに例がありますので、例をよく見て取り組みましょう。  
**自分で考えることが多いので、ゆっくり時間をとって、取り組みましょう。**

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容			
1	東近江大凧の歴史 東近江大凧の特徴	東近江大凧の歴史や特徴について学ぶ	<1>	学校でのスクーリング	メディアスクーリング	東近江大凧について	東近江大凧について学ぶ ※特に、特徴の1つである「判じもん」について、詳しく見ていきます
2	東近江大凧の名称 (判じもんについて)	東近江大凧の特徴を学ぶ これまでの東近江大凧の判じもんを調べる					
3	判じもんを学ぼう	判じもんの成り立ちを考える					
4	判じもんを学ぼう	判じもんの成り立ちを考える	<2>	メディアスクーリング	大凧会館の見学	大凧会館を動画で見学する。 ・東近江大凧の歴史を学ぶ ・色々な凧を見て、判じもんを考えるヒントを得る ・日本各地、世界各国の凧を見る	
5	判じもんを学ぼう	判じもんの成り立ちを考える					
6	判じもんを学ぼう	いろんな言葉を絵で表し、それを使って凧の図柄を考える					

# 「総合的な探究の時間」について

卒業までに3～12単位を履修してください。  
メディア・スクーリングはありません。必ず学校でのスクーリングに出席すること。  
遅刻・欠席すれば、単位を修得できません。  
テストはありません。

総合的な探究の時間は、司学館講座と、それ以外の講座の2種類あります。

## ●司学館講座について

6人の先生が、1人1時間ずつ担当します。

### <1・3年次生>

6時間のうち 3時間 出席して、毎回 レポート課題を提出します。  
提出した課題が合格すれば 1単位 修得できます。

### <2年次生>

提出したレポート課題が合格すれば、単位を修得できます。  
6時間のうち 3時間 出席して合格すれば 1単位 修得できます。  
6時間とも出席して合格すれば 2単位 修得できます。

→ どれに出席するかを選んで、登録します(登録用紙に記入)。

## ●それ以外の講座について

「志望動機を考えよう」「日本の美を探求する」があります。

くわしい内容は、学習計画表を読んでください。

「日本の美を探求する」のスクーリングは、**金曜日に行ないます**(予備のスクーリングも)。

総合探求	講座	担当	単位数	2単位	年次	2年次	レポート	4枚	スクーリング	2回
	日本の美を 探求する		(ねらい) 近世日本の画家の人物・作品の芸術性などを調べ、日本の美の素晴らしさを探求する。美術館・博物館で催される展覧会に足を運び、より本格的に学習する。							

- 〈レポート〉
- No.2, 3の調べ学習は、調べた内容を自分でまとめる必要があります。(見本あり)
  - No.4は実際に美術館や博物館に足を運び、絵画を鑑賞し、記録する必要があります。
  - 別紙(レポート作成のための冊子)を見て、レポートを完成させること。

- 〈スクーリング〉
- 集中して取り組み、配布する課題をきちんとこなすこと。
  - **メディア・スクーリングはありません**
  - **学校でのスクーリングは金曜日に行います**

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容		
1	近世絵画の概説 No.4の計画	①安土・桃山時代から江戸末期の 絵画をジャンル別にみていく ②施設見学の計画を立てる	〈1〉	学校 での スクー リング	浮世絵版画	・浮世絵版画とは? ・有名な浮世絵版画の作品を見る
2	指定されている近世の画家の中から一人ずつ選び、 作成要領に従って、レポート(B4用紙両面)を仕上げる。 No.2とNo.3の画家は別の画家を選ぶこと。					
3			〈2〉	学校 での スクー リング	優秀レポートの紹介	
4	展覧会	<b>美術館や博物館などの 施設に実際に足を運び、 絵画を鑑賞する。</b> ※特別展・常設展は問わない。 ※レポートは所定の様式がある。				

総合探求	講座	担当	単位数	1単位	年次	2年次	レポート	3枚	スクーリング	3回
	志望動機を 考えよう		(ねらい) 高チャレTVを使用し、社会に出る上で必要な知識を習得する。							

- 〈レポート〉
- スクーリングのときにくばります。
  - できが いいかげんな レポート・字が 乱雑な レポートは 再提出。

- 〈スクーリング〉
- **遅刻した人は入室禁止**(つまり欠席となる)。3回とも出席しないと不合格。
  - ふまじめな人、態度の悪い人、まわりのめいわくになる人は、欠席にする。
  - できるかぎり **<1><2><3>の順番に出席**すること  
※ <1>の内容が<2>の、<2>の内容が<3>の準備となるので
  - 高チャレTVを使うので、**スマートフォンを持ってきてください。**  
※ **ただし、学習と関係のない使い方は禁止**(欠席にします)。  
※ スマートフォンがない人は、学校でパソコンを用意します。
  - **メディア・スクーリングはありません**

No.	レポート・スクーリングのテーマ・内容		
1	〈1〉	学校での スクーリング	(1) 高チャレTVでできること (2) 適性検査を実施して、自分の適性や性格を知る (3) 適性検査の結果を使いながら、自分のことについて書き出す
2	〈2〉	学校での スクーリング	(1) 滋賀県が誇る世界シェア・国内シェアトップクラスの企業の紹介 (2) 紹介した企業の中から興味の持てる企業を選び、志望動機のベースを書く
3	〈3〉	学校での スクーリング	(1) 言葉の使い方(口語と文語、丁寧語と尊敬語、謙譲語) (2) <1><2>で書いた志望動機を使い、今後のキャリアについて書く

## 司学館講座 テーマと内容

担当	テーマ	内容	ねらい
西川	ドレミって何？	音楽と言え、まずはドレミ!でも、みなさん、ドレミって何?って思ったことないですか? その歴史を紐といてみましょう	物事には訳があることを知ろう
小椋	バレエを観よう!	なかなか触れる機会がないバレエですが、今回は、人気の演目のあらすじや、作品の見どころについてお話ししながら、鑑賞を中心にすすめていこうと思います。	バレエという舞台芸術に触れ、豊かな感性をはぐくむ。
中西	そうだ 神社、行こう。	初詣や七五三などで、神社に行ったことがある人は多いと思いますが、そもそも神社とはどのような場所かを知っていますか? 寺との違いについて説明できますか? この講座では、神社についての基本情報や豆知識、滋賀県の有名な神社について紹介したいと思います(※この講座自体には特にご利益はありません)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神社と寺の違いを理解する</li> <li>・ 神社のお参りの仕方を知る</li> <li>・ 滋賀県の神社について知る</li> </ul>
大久保	ボディメイク 運動実践編	最新の情報で、効率よく筋肉を獲得する方法を学びます。	運動を身近に感じる 自分に自信を持つ
松藤	ジャンケン・ サッカー	<p style="text-align: center;">[内容] 6人ずつのチームで対抗して 三回勝ち続けると1点。 スタートから一斉に出てFWの人と ジャンケンして勝つとMF、勝つとGK、 負けるとスタートから。 どこで負けても負けるとスタートに戻って やり直す。 三回連続で勝ち続けると1点で 何回もやり続ける。 動き回ってジャンケンをするので 体力が要ります。 3分ハーフの予定ですが人数により 変わります。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 20px;"> <div style="border-bottom: 1px dashed black; width: 100px; margin-right: 5px;"></div> <div style="margin-right: 5px;">スタート</div> <div style="margin-right: 10px;">○ ○ ○</div> <div style="margin-right: 5px;">FW</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 20px; margin-top: 5px;"> <div style="margin-right: 10px;">○ ○</div> <div style="margin-right: 5px;">MF</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 20px; margin-top: 5px;"> <div style="margin-right: 5px;">○</div> <div style="margin-right: 5px;">GK</div> </div> <p style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;">※ ○ は椅子に座る ※ 3分ハーフの前半後半</p>	<p>しゃべったこともない人と一緒に ジャンケンを通して仲間づくりを 目指します。 運動量が多い講座ですが 楽しめますので ぜひ参加してください。</p>
村田	隠れた才能の発見	あなたには隠れた才能があるかも? 簡単なものから難しいものまで、さまざまな問題に挑戦しましょう。 意外な得意分野が見つかるかもしれませんよ。 (最後のオマケ問題が出来たら賞品があります。)	思考力、発想力を養う。 機会を見つけて挑戦することの 良さを学ぶ。

# 学習するとき気をつけてほしいこと

## ★ 学校でのスクーリング

- ① 遅刻をしないこと！ → 遅刻 2回で 1回の欠席 になります。遅刻が多いと不合格になるので、注意すること。
- ② 教科書・レポート・筆記用具をわすれない！ → わすれものをしてたら、減点されることもあります。  
筆記用具は、貸し出ししていません。事務室で、消しゴム付き鉛筆（1本20円）を販売しています。
- ③ 真剣に取り組む！ → 数少ないスクーリングですので、まじめに受けましょう。  
私語・スマホ・居眠りなど、スクーリングを妨げる行為はやめましょう。  
指導に従わない人は、欠席にすることもあります。
- ④ 体育の実技について → 実技の時間には、必ずジャージを用意すること。  
わすれた人は、見学の扱いになります。  
※体育館シューズは貸し出しできます（自分で持ってきてもかまいません）  
  
→ ケガを防ぐため、ピアス・ネックレス・アクセサリー・時計などは  
はずすこと。
- ⑤ 公共交通機関が遅れたときは → JRや近江鉄道などが遅れて、スクーリングに間に合わないときは、  
まず学校に電話して指示を受けること。  
  
→ 交通渋滞で、自動車の送迎が遅れた場合は、自己責任となります。  
ギリギリではなく、時間に余裕をもって登校してください。

## ★ メディア・スクーリング

- ① まじめに視聴すること！ → リラックスして視聴するのは かまいませんが、スクーリングですので、  
気を抜かずに集中してとりくむこと。
- ② 課題をしあげること！ → 課題（スクーリング・プリント）は、なるべく100%にしあげること。  
いいかげんな できのプリントは、再提出や不合格になります。
- ③ メ切を守ること！ → あとまわしにすると、量がたまって、視聴しきれなくなります。  
プリントを提出しなかったり、再提出せずに最終メ切をこえたりしたら、  
出席とは認められません。

## ★ レポート

- ① しっかり管理すること！ → レポートを雑に扱う人は、不合格になることが多いです。  
字はていねいに書くこと。また、破ったり、汚したり、しわだらけにしたり  
しないように。それから、くれぐれも なくさないように。
- ② 計画的に学習すること！ → メ切ギリギリまで やらない人は、不合格になることが多いです。  
メ切を守りましょう。
- ③ レポートのやり方 → 難しい問題があったら、学校で先生に教えてもらいましょう。  
他人のレポートを写したり、人に書いてもらったり、絶対しないように。  
指導に従えない人は、メ切の前でも不合格にします。
- ④ 提出について → レポートは、必ず本人が提出してください。  
他人のレポートを代わりに提出してはいけません。

# 学校でのスクーリングとメディア・スクーリングの関係

	学校での スクーリング回数	メディア・ スクーリング回数	すべてメディアで受けたら 何回分の出席点になる？
国語演習－①	<1>	<1><2>	1回
現代の国語	<1>	<1><2>	1回
地理総合	<1>	<1><2>	1回
日本史探求	<1>	<1><2>	1回
日本の文化を学ぶ	<1>	<1><2>	1回
公共	<1>	<1><2>	1回
倫理	<1>	<1><2>	1回
新聞を読む	<1>	<1><2>	1回
現代の課題	<1>	<1><2>	1回
数学演習－①	<1><2>	<1><2><3>	1.5回
数学I－①	<1>	<1><2>	1回
数学A	<1>	<1><2>	1回
科学と人間生活－①	<1><2>	<1><2><3><4>	2回
地学基礎－①	<1><2>	<1><2><3><4>	2回
生物基礎－①	<1><2>	<1><2><3><4>	2回
保健A	<1>	<1><2>	1回
体育A－①	<1><2><3><4>	<1><2><3><4> <5><6><7><8><9><10>	6回
体育B－①	<1><2>	<1><2> <3><4><5>	3回
体育C－①	<1><2>	<1><2> <3><4><5>	3回
音楽I	<1><2><3><4>	<1><2><3><4> <5><6><7><8>	4回
英語演習－①	<1><2>	<1><2><3><4>	2回
英語コミュニケーションI－①	<1><2><3><4>	<1><2><3><4> <5><6><7><8>	4回
論理・表現I－①	<1><2>	<1><2><3><4>	2回
家庭基礎－①	<1><2>	<1><2><3>	1.5回
情報リテラシー	<1><2><3>	<1><2><3> <4><5><6>	3回
近江の偉人	<1>	<1><2>	1回
琵琶湖と環境	<1>	<1><2>	1回
東近江大風	<1>	<1><2>	1回
司学館講座 志望動機を考えよう 日本の美を探究する HR	<b>メディア・スクーリングがありません 必ず学校でのスクーリングを受けること</b>		

★ メディア・スクーリングで認められる出席の回数は、文部科学省のルールで決まっています。  
上限を超えた分は出席になりません。

★ 総合探究やHRは、メディア・スクーリングがありません。必ず学校でのスクーリングを受けること。

## スクーリングの受け方の例

(スクーリングが2回の科目の場合)

<1>	<2>	何回分の出席点?
学校で受けた	メディアで受けた	2回
学校で受けた	(欠席)	1回
メディアで受けた	(欠席)	1回
メディアで受けた	メディアで受けた	1回

(スクーリングが3回の科目の場合)

<1>	<2>	<3>	何回分の出席点?
学校で受けた	学校で受けた	メディアで受けた	3回
学校で受けた	学校で受けた	(欠席)	2回
学校で受けた	(欠席)	メディアで受けた	2回
学校で受けた	メディアで受けた	メディアで受けた	2.5回
メディアで受けた	メディアで受けた	メディアで受けた	1.5回

# 成績評定・観点別学習状況の評価

## ●成績評定について

各科目の成績は、レポート・スクーリングの学習状況、テストの成績などによって総合的に評価します。

評価は、次のように5段階で表します。

5	大変 優れている	合格(単位認定)
4	優れている	
3	普通	
2	やや劣る	
1	評価の対象外	不合格(単位不認定) ※レポート不合格・スクーリング不合格・期末試験不合格など

## ●観点別学習状況の評価について

学習状況については、成績評定だけでなく、観点別に評価したものを通知します。

次の3つの観点について、それぞれ3段階で評価します。

### <知識・技能>

- ・レポートで、十分な成果をあげられたか
- ・テストで、十分な成果をあげられたか

### <思考・判断・表現>

- ・レポートで学んだ知識を利用して、考え、表現できたか
- ・スクーリングで学んだ知識を利用して、考え、表現できたか

### <主体的に学習に取り組む態度>

- ・レポートで、計画的に学習を進められたか
- ・レポートで、教科書以外を使った調べ学習に、しっかり取り組めたか
- ・スクーリングの出席率はどうか

A	十分 満足できる
B	おおむね満足できる
C	努力を要する

なお、次のような科目は、観点別学習状況を評価しません。

- ・単位修得できなかった科目
- ・昨年度に履修した科目を、今年度はテストのみ受験した科目
- ・前籍校での履修が認められ、テストのみを受験した科目